

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4350 URL https://www.msnw.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
 経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	53,340	2.2	2,537	△22.0	1,099	△40.9	1,242	△44.4	502	△64.9
2022年3月期第2四半期	52,169	2.2	3,253	16.7	1,862	37.4	2,235	60.0	1,431	147.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 523百万円(△63.9%) 2022年3月期第2四半期 1,451百万円(153.1%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	16.64	—
2022年3月期第2四半期	47.46	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	64,124	13,596	21.2	449.60
2022年3月期	62,941	13,286	21.1	439.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,568百万円 2022年3月期 13,268百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2023年3月期	—	6.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	110,000	3.1	6,200	△7.6	3,500	△9.1	3,700	△14.2	1,750	△26.9	57.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	30,642,600株	2022年3月期	30,642,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	464,055株	2022年3月期	464,055株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	30,178,545株	2022年3月期2Q	30,163,381株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式を自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、地域薬局部門において2022年4月に実施された薬価・調剤報酬改定の影響により処方箋単価は下落したものの、新規出店やM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したことや、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が堅調に推移したこと等により、売上高は53,340百万円(前年同期比2.2%増)となりました。利益面につきましては、地域薬局部門において薬価・調剤報酬改定が実施されたことや対人業務強化に伴う労務費の増加等により、営業利益1,099百万円(同40.9%減)、経常利益1,242百万円(同44.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益502百万円(同64.9%減)となりました。なお、前年同期比では増収減益となりましたが、期初計画に対し、概ね計画通り推移いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及びLINEを活用したかかりつけ薬局化支援を行っております。

地域薬局部門におきましては、薬価・調剤報酬改定の影響により処方箋単価は下落したものの、新規出店やM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと等により、処方箋応需枚数は増加いたしました。また、当第2四半期連結累計期間において、モール型店舗3店舗を含む、地域薬局4店舗を新規出店いたしました。2022年9月30日現在の店舗数は、地域薬局427店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア9店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門におきましては、調剤報酬改定の影響等により薬剤師が対人業務へ一層注力する中、薬局での業務効率化ニーズが高まり、新規加盟件数は堅調に推移いたしました。2022年9月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ427件、一般加盟店7,746件の合計8,173件(前連結会計年度末比772件増)となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、2022年9月30日現在、42成分85品目を販売しております。取引店舗数は、当社グループ薬局のほか、一般加盟店1,886店舗(前連結会計年度末比188店増)となりました。

デジタルシフト部門におきましては、導入・受注店舗数は順調に推移し、2022年9月30日現在の導入店舗数は、2,332店舗(前連結会計年度末比1,421店増)、受注店舗数は2,866店舗(同1,223店増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50,792百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益2,384百万円(同17.4%減)となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入が概ね堅調に推移したことや、建築業務における受注案件が増加したこと等により、売上高は1,673百万円(前年同期比8.9%増)となりました。利益面につきましては、営業強化のための増員等により労務費が増加したこと、また、サービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア」や医師開業支援において開業を予定している医師向けに積極的な販売促進活動を行ったことによる広告宣伝費の増加等により、営業損失65百万円(前年同期は営業利益32百万円)となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2022年9月30日現在の入居状況につきましては、「ウィステリア千里中央」は全82戸中57戸(入居率69.5%)、「ウィステリア南1条」は全116戸中80戸(入居率69.0%)、全5棟の入居率は80.6%となりました。引き続き、期末目標の入居率90%達成に向け、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら積極的な営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響による給食提供数の減少や、仕入価格上昇に伴う売上総利益率の低下等により、売上高は1,135百万円(前年同期比2.7%減)、営業損失33百万円(前年同期は営業利益1百万円)となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、売上高は151百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失10百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は64,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,182百万円増加しました。

流動資産は18,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円の増加となりました。固定資産は45,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,162百万円の増加となりました。主な要因は、のれんが減少したものの、有形固定資産のその他（純額）に含まれるリース資産（純額）が増加したことによるものであります。

負債の部は50,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ872百万円の増加となりました。流動負債は20,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は29,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が増加したものの、固定負債のその他に含まれるリース債務が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては、13,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1,427百万円減の6,743百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,701百万円の収入(前年同四半期は913百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,165百万円及び減価償却費872百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、902百万円の支出(前年同四半期は832百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出670百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,226百万円の支出(前年同四半期は1,982百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2,392百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月6日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,201	6,774
売掛金	2,891	3,328
債権売却未収入金	954	981
調剤報酬等購入債権	443	431
商品	4,765	5,220
原材料	14	16
仕掛品	1	3
貯蔵品	76	75
その他	1,355	1,901
貸倒引当金	△3	△10
流動資産合計	18,701	18,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,408	13,257
土地	8,847	8,901
建設仮勘定	202	151
その他(純額)	2,165	3,998
有形固定資産合計	24,624	26,307
無形固定資産		
のれん	12,254	11,689
ソフトウェア	401	496
その他	111	106
無形固定資産合計	12,767	12,292
投資その他の資産		
投資有価証券	155	156
差入保証金	3,052	3,067
繰延税金資産	2,894	2,865
その他	764	732
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	6,848	6,802
固定資産合計	44,239	45,402
資産合計	62,941	64,124

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,680	9,830
短期借入金	1,016	1,516
1年内返済予定の長期借入金	4,756	4,662
未払法人税等	617	603
賞与引当金	1,528	1,605
役員賞与引当金	38	8
その他	2,798	2,740
流動負債合計	20,435	20,966
固定負債		
長期借入金	22,891	20,592
役員退職慰労引当金	600	620
役員株式給付引当金	210	227
退職給付に係る負債	3,752	3,913
その他	1,763	4,207
固定負債合計	29,219	29,561
負債合計	49,654	50,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,182	1,182
利益剰余金	10,393	10,681
自己株式	△326	△326
株主資本合計	13,377	13,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△6
繰延ヘッジ損益	0	2
退職給付に係る調整累計額	△102	△92
その他の包括利益累計額合計	△108	△97
非支配株主持分	17	28
純資産合計	13,286	13,596
負債純資産合計	62,941	64,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	52,169	53,340
売上原価	30,307	31,024
売上総利益	21,861	22,315
販売費及び一般管理費	19,999	21,215
営業利益	1,862	1,099
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	3
業務受託料	37	35
設備賃貸料	52	71
補助金収入	366	176
雑収入	59	38
営業外収益合計	520	325
営業外費用		
債権売却損	27	27
支払利息	95	138
雑損失	24	16
営業外費用合計	146	182
経常利益	2,235	1,242
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	112	—
特別利益合計	113	7
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	5	47
減損損失	90	18
店舗閉鎖損失	5	13
その他	0	6
特別損失合計	112	85
税金等調整前四半期純利益	2,236	1,165
法人税、住民税及び事業税	622	629
法人税等調整額	189	23
法人税等合計	812	653
四半期純利益	1,424	512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,431	502

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	1,424	512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	0
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整額	7	9
その他の包括利益合計	27	11
四半期包括利益	1,451	523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,458	513
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,236	1,165
減価償却費	827	872
減損損失	90	18
のれん償却額	564	565
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	76
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△65	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	16	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△217	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	198	175
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	95	138
投資有価証券売却損益(△は益)	△112	—
固定資産売却損益(△は益)	9	△7
固定資産除却損	5	47
売上債権の増減額(△は増加)	△7	△437
債権売却未収入金の増減額(△は増加)	16	△26
調剤報酬等購入債権の増減額(△は増加)	24	11
棚卸資産の増減額(△は増加)	△531	△456
仕入債務の増減額(△は減少)	1	150
未払消費税等の増減額(△は減少)	45	△98
その他	△322	205
小計	2,893	2,410
利息及び配当金の受取額	4	2
利息の支払額	△94	△138
法人税等の支払額	△1,889	△572
営業活動によるキャッシュ・フロー	913	1,701

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△927	△670
有形固定資産の売却による収入	19	22
無形固定資産の取得による支出	△112	△156
投資有価証券の売却による収入	379	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△209	—
事業譲渡による収入	11	—
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	6	3
差入保証金の差入による支出	△54	△49
差入保証金の回収による収入	18	30
その他	36	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832	△902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	498	500
長期借入金の返済による支出	△2,195	△2,392
リース債務の返済による支出	△134	△120
配当金の支払額	△152	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,982	△2,226
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,902	△1,427
現金及び現金同等物の期首残高	10,088	8,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,185	6,743

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,663	1,186	1,166	152	52,169	—	52,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	350	—	—	350	△350	—
計	49,663	1,536	1,166	152	52,519	△350	52,169
セグメント利益 又は損失(△)	2,885	32	1	△12	2,906	△1,043	1,862

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,043百万円には、セグメント間取引消去117百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,161百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,785	1,268	1,134	151	53,340	—	53,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	404	0	—	412	△412	—
計	50,792	1,673	1,135	151	53,752	△412	53,340
セグメント利益 又は損失(△)	2,384	△65	△33	△10	2,275	△1,175	1,099

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,175百万円には、セグメント間取引消去145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,321百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。